



# 架け橋

第6号

(令和4年8月26日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：[mihashi-j@saitama-city.ed.jp](mailto:mihashi-j@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

## 努力はたし算、協力はかけ算

校長 芳崎 正道

36日間の休みも終了し、今日から2学期が始まります。皆さんは、どのような夏休みを過ごしましたか。終業式にお話した、「努力の壺」には水をたくさん入れることができましたか？ 新型コロナウイルスの感染が再拡大し、毎日、非常に多くの方々が新規感染となっております。感染防止に万全を期し、2学期の教育活動に取り組んでまいりますので、なにとぞ御理解・御協力いただきますよう、お願い申し上げます。



折り紙による花火(職員室前掲示：分須業務主査製作)

「努力はたし算、協力はかけ算」という言葉を聞いたことがありますか。「努力はたし算」とは、人が10の努力を2回したとすると、「 $10 + 10$ 」で20の努力になるということです。もしも次に努力ができなくても「 $10 + 10 + 0$ 」で20の努力は残ります。一方「協力はかけ算」です。もし、10の力の人と10の力の人協力したとすると、10の力と10の力をかけ合わせるのですから「 $10 \times 10$ 」で100の力になります。しかし、3人目の人が協力しないと「 $10 \times 10 \times 0$ 」で0の力になってしまいます。つまり、3人目の人が協力しないと100の力は一瞬にして0になってしまうということです。

これをクラスに置き換えると、40人のクラスみんなが10の力を出し合って協力したとしたならば、10の力を40回かけ合わせるのですから、その力はものすごく大きなものになります。しかし、その中で協力しない人がいたとしたら、その集団の力は0になってしまいます。

そこで、体育祭・合唱コンクールなどにおいては、みんなが協力することが大切になってくるのです。「自分一人がいいかげんでも大丈夫だ」と思う気持ちがクラスやチームをダメにしてしまうかも知れません。逆に「自分には10の力はないけれど、協力しよう」とすることがクラスやチームに貢献することになります。

もちろん、みんなの中には運動や歌が苦手な人もいるでしょう。でも尻込みする必要はありません。10の力がなくても、たとえその力が4や5だとしても、協力することでクラスの力は確実に大きくなります。ですから、周りの方も運動を苦手にしていない人を励ましてください。

「協力はかけ算」。どのクラスもこの言葉を実践し、今年の体育祭・合唱コンクールが歴史に残る素晴らしいものになることを期待しています。